



香寺図書通信

香寺高等学校
図書委員会
R2.12.7
No.34

12月に入り、今年も残すところ1カ月となりました。昔から日本では12月を「師走(しわす)」と呼びます。師走とは、師(お寺のお坊さん)が経をあげるために忙しく走り回る姿から発生したという説が有名です。しかし、忙しく走り回るのは、お坊さんだけではありません。「大掃除」「年賀状作り」「お正月の準備」など、誰もが忙しくなるのがこの時期です。また、日暮れが早くなるのも、この時期です。そこで、皆さんに気を付けてほしいのが「交通事故」です。ある新聞社の調査によると、一年を通して交通事故が最も多くなるのが10月から12月の間とか…。理由は、日が出ている時間も短くなるうえ、年末に向かって気ぜわしくなるためだそうです。暗くなる前に家に帰るよう心がけたり、暗い中でも目立つように反射材を身につけたりして、事故防止に努めましょう。

図書委員おすすめ図書



「深煎りの魔女とカフェ・アルトの客人たち ロンドンに薫る珈琲の秘密」 天見 ひつじ
この本は20世紀ロンドンで「カフェ・アルト」の店主をしているアルマが主人公です。彼女は「深煎りの魔女」のあだ名を持ち、彼女が作る珈琲や焼き菓子、カクテルは訪れた客人を魅了していく話です。店主がお客1人1人にあった珈琲を出し、お客の抱える問題を解決する所や、珈琲や、ロンドンの風景が細かく書かれている所や、彼女が「深煎りの魔女」と呼ばれている理由が分かる所が読みどころです。
3年3組 阿部 明紗華



「百貨の魔法」 村山 早紀
この本は閉店が近いと噂が飛び交う星野百貨店を創業者の一族らが守ろうとする話です。この本にはいろいろな人物が登場しますが、1人1人のストーリーが深く、読んでいるうちにどんどん物語に引き込まれます。描写が美しく、頭の中で鮮やかに想像することができます。私が最も印象に残っている場面は最初のエレベーターのシーンです。「空を泳いでいる」という表現がとても印象に残っています。心が暖まる話となっています。
3年3組 今村 咲智



廃棄図書のお知らせ
期間：12/7(月)～12/23(水)まで
場所：図書室前



プレゼント!!

架

しおりの数を増やしました！
色・柄も増えています。
欲しい人は自由に持ち帰って使ってください。

オリジナルのしおりも作れます。
気軽に声をかけてください！